

農作業中の熱中症を予防しましょう!!

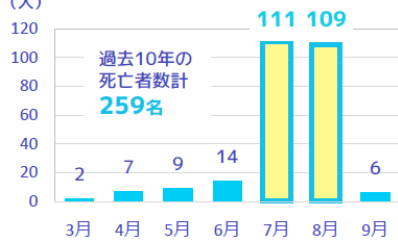
夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。

熱中症は**正しい知識**を身につけることで、適切に**予防**することが可能です!!

農作業中の熱中症

⚠ 毎年、約**30名**の方が
農作業中の **熱中症**により**死亡**

農作業中の熱中症による死者数（月別）



**7月
8月に
多発**

▶ 予防のポイント

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



～熱中症対策アイテム～

「身体を冷やす」
ファン付きウェア、
ネッククーラー



暑い時間帯の作業等が避けられないときに活躍!

「1人作業の備え」
ウェアラブル端末、
応急セット



やむを得ず1人作業をする際のリスクを回避したいときに活躍!

「環境改善」
ミストファン



作業場を涼しくしたり、休憩の質を高めたいときに活躍!

▶ 熱中症が疑われる場合には

01 作業を中断

めまい!?

!?吐き気

頭痛!?

汗をかかない!
体が熱い!

倦怠感...

判断力低下...



02 応急処置

- 涼しい環境へ避難
- 衣服をゆるめ体を冷やす
- 水分・塩分を補給



03 病院へ

応急処置をしても症状が改善しない場合は医療機関で診療を受けましょう!!



農作業事故は決して 他人事ではありません

■ 令和4年農作業事故調査結果（愛知県農業経営課調べ）

1. 令和4年1月～令和4年12月に発生が確認された事故総数

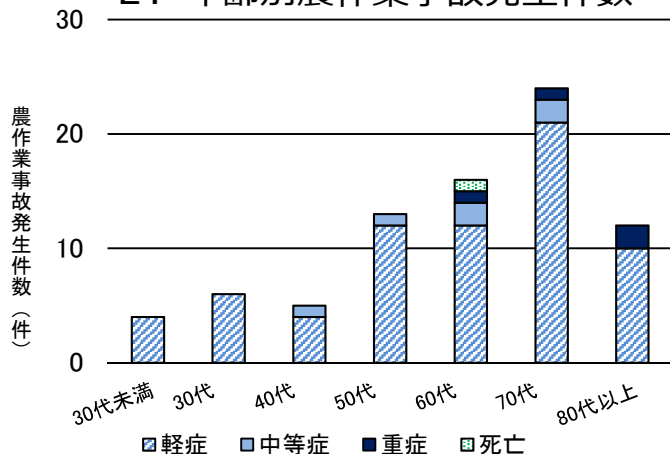
県内で確認できた農作業事故は80件（前年148件）発生しています。
【内訳 死亡：1件、重症：4件、中等症及び軽症：75件、不明：0件】

※農作業事故の区分は、重症が入院3週間以上の事故、中等症が入院3週間未満の事故、軽症が入院無しの事故と整理しています。

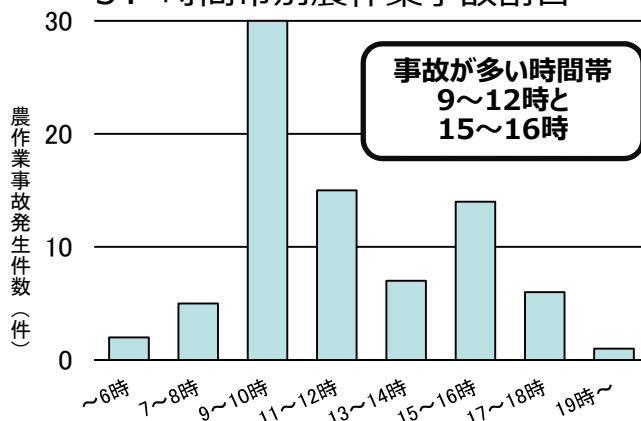
昨年愛知県内で発生した事故事例

年齢	事故の状況
60代	トラックの荷台からトラクターを下ろす際、横転。トラクターの下敷きになり死亡した。

2. 年齢別農作業事故発生件数



3. 時間帯別農作業事故割合



愛知県GAPの「労働安全の取組（やろまいシート）」の項目を参考に、農作業にあたり安全確保ができていないか、日常的にチェックしましょう。
「愛知県におけるGAPの推進について」ページ
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-keiei/aichigaptop.html>
農研機構「農作業安全情報センター」サイトも参考にしてください。
<http://www.naro.affrc.go.jp/org/brain/anzenweb/>



愛知県農業水産局農政部農業経営課環境・植防・肥料農薬取締グループ

〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2 E-mail nogyo-keiei@pref.aichi.lg.jp

TEL 052-954-6411（ダイヤルイン）FAX 052-954-6931